

令和5年度岡山県クリーニング師学科試験問題

1 試験科目及び試験時間

試 験 科 目	試 験 時 間
○ 衛生法規に関する知識 ○ 公衆衛生に関する知識 ○ 洗濯物の処理に関する知識	10 : 30 ~ 12 : 10 (100分)

2 注意事項

- 1 受験票と筆記用具は各自、机の上に置いてください。
受験票と筆記用具以外の荷物は、椅子の下に置いてください。
携帯電話等を持参している人は、電源を切って鞆の中に入れてください。
- 2 問題用紙と解答用紙は別々です。
- 3 解答用紙に、受験番号及び氏名を必ず記入してください。
- 4 解答は、解答用紙に記入しないと無効となります。
- 5 解答は、解答欄に1つだけ記入してください。(2つ以上記入した場合は無効となります。)
- 6 試験開始後、**50分経過**したら退場することができます。
- 7 退室するときは、係員の指示に従い静かに退室してください。
- 8 受験票と問題用紙は、各自で持ち帰ってください。
- 9 問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。

指示があるまで、開いてはいけません。

I 衛生法規に関する知識

問1 次の(1)～(5)の各文は、「クリーニング業法」に関する記述である。次の(ア)～(コ)にあてはまる語句を、下の【語群】から1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、
(ア) に対し、(イ) について説明するよう努めなければならない。

営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをするに際しては、厚生労働省令で定めるところにより、(ア) に対し、(ウ) を明示しなければならない。

- (2) クリーニング所を開設しようとする者は、厚生労働省令の定めるところにより、クリーニング所の位置、構造設備及び(エ) 並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項を(オ) 都道府県知事(保健所を設置する市又は特別区にあっては、市長又は区長)に届け出なければならない。

- (3) 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して(カ) 以上の刑に処せられたときは、その免許を(キ) ことができる。

- (4) クリーニング所の洗場については、床が、不浸透性材料(コンクリート、タイル等汚水が浸透しないものをいう。)で築造され、これに適当な勾配と(ク) が設けられていなければならない。

- (5) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後(ケ) 以内に、法第8条の2の規定による研修を受けるものとする。

この研修を受けた後は、(コ) を超えない期間ごとに研修を受けるものとする。

【語 群】

- | | | | |
|--------------|-------------|-----------|-------|
| ① あらかじめ | ② 苦情の申出先 | ③ 防虫設備 | ④ 勤務先 |
| ⑤ 利用者 | ⑥ 洗濯物の処理方法等 | ⑦ 開設後速やかに | ⑧ 罰金 |
| ⑨ 従事者数 | ⑩ 3年 | ⑪ 排水口 | ⑫ 1年 |
| ⑬ 保健所 | ⑭ 洗剤の廃棄方法等 | ⑮ 取り消す | ⑯ 懲役 |
| ⑰ 許可の更新 | ⑱ 作業面積 | ⑲ 1月 | |
| ⑳ 期間を定めて停止する | | | |

問2 次の(1)～(10)の各文は、「クリーニング業法」に関する記述である。正しい記述であれば○印を、誤っている記述であれば×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 洗濯をしないで洗濯物の受取及び引渡しをすることを営業とする者は、営業者に含まれない。
- (2) クリーニング師の免許を受けようとする者は、本籍、住所、氏名及び生年月日を書いた申請書等を、クリーニング師試験合格地の都道府県知事に申請しなければならない。
- (3) 洗濯物を男性用と女性用に区分して処理しなければならない。
- (4) 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして厚生労働省令で指定する洗濯物を取り扱う場合においては、その洗濯物は他の洗濯物と区分しておき、洗濯した後に消毒しなければならない。
- (5) 営業者は、クリーニング所以外において営業として洗濯物の処理を行ってはいないが、仕上げのみの軽微な作業は、クリーニング所以外で行うことが認められる。
- (6) クリーニング所を廃止したときは、営業者は、厚生労働省令の定めるところにより、速やかに都道府県知事に届け出なければならない。
- (7) 営業者は、洗濯物の洗濯をするクリーニング所に、業務用の機械として、洗濯機及び乾燥機をそれぞれ少くとも1台備えなければならない。
- (8) クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときは、その旨を書き、破り、又は汚した場合においてはその免許証を添え、1月以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
- (9) クリーニング業とは、衣類等を原型のまま洗濯することであり、洗濯物を解体して洗濯する行為を業とする場合は、クリーニング業ではない。
- (10) クリーニング所の開設届に虚偽のクリーニング師の氏名を記載し届出をした者は、5千円以下の罰金に処される。

Ⅱ 公衆衛生に関する知識

問 1 次の(1)～(7)の各文について、正しい記述であれば○印を、誤っている記述であれば×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所で使用されたテトラクロロエチレンや石油系溶剤などを含む廃油等の廃棄物が特別管理産業廃棄物に分類された場合、これらを生ずる市町村ごとに、特別管理産業廃棄物管理責任者を選任して、処理の対応をしなければならない。
- (2) 水質汚濁防止法では、洗濯を行うクリーニング所に備える洗濯機は、洗濯業の用に供する洗浄施設として、特定施設となるため、施設を設置する場合は自治体へ許可申請する必要がある。
- (3) 標準営業約款制度（Sマーク制度）は、消費者の利益擁護の観点から、消費者の店舗選択の利便を図ることを目的として創設された制度であり、クリーニング所も登録の対象となっている。
- (4) 病院において療養のために使用された寝具は、消毒を要する洗濯物として指定されている。
- (5) ノロウイルスに汚染された布製品等から飛散したウイルスを吸入することで、ウイルスに感染する危険がある。
- (6) P R T R制度（化学物質排出移動量届出制度）では、常時雇用者21人以上で、年間1トン以上のテトラクロロエチレンを取り扱うクリーニング所は、その排出量等の状況について、都道府県知事を経由し、厚生労働大臣に届け出なければならない。
- (7) W H O（世界保健機関）が定義する「健康」とは、肉体的、精神的及び社会的に完全によい状態にあることであり、これは、単に疾病又は虚弱でないということを意味する。

問 2 次の①～④の各文は、クリーニング所における衛生管理要領に示される「指定洗濯物の一般的な消毒方法」に関する記述である。正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ① 蒸気による消毒では、蒸気がま等を使用し、100℃以上の湿熱に5分間以上触れさせる。
- ② 熱湯による消毒では、40℃以上の熱湯に10分間以上浸す。
- ③ 塩素剤による消毒では、さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素250ppm以上の水溶液中に30℃以上で5分間以上浸す。
- ④ 界面活性剤による消毒では、逆性石ケン液、両性界面活性剤等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、30℃以上で5分間以上浸す。

問3 次の①～④の各文は、厚生労働省が定めた「おしぼりの衛生的処理等に関する指導基準」に関する記述である。正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ① 貸与したおしぼりは、少なくとも4日以内に回収して処理すること。
- ② おしぼりを熱湯により消毒した後に洗濯する場合は、70℃以上の熱湯に5分以上浸した後に洗濯を行うこと。
- ③ 製品として貸与されるおしぼりは、黄色ブドウ球菌が1枚当たり10万個を超えないことが望ましいこと。
- ④ 仕上げ済みの製品はその衛生保持に十分留意し、速やかに貸与のための配送をすること。速やかに配送できない場合には、10℃以下で保管すること。

問4 次の①～④の各文は、「ドライクリーニングの溶剤」に関する記述である。誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ① 石油系溶剤やテトラクロロエチレンは、光化学オキシダントや微小粒子状物質（PM2.5）の原因物質であるVOC（揮発性有機化合物）に該当する。
- ② 労働安全衛生法の規定に基づく特定化学物質障害予防規則において、テトラクロロエチレンを取り扱う作業場には、作業に従事する労働者が見やすい箇所に、テトラクロロエチレンにより生ずるおそれのある疾病の種類及びその症状を掲示しなければならない。
- ③ テトラクロロエチレンの使用方法については、水質汚濁防止法により、管理要領を定めて点検を行い、その結果を点検表に記録し、1年間保存することが義務付けられている。
- ④ テトラクロロエチレンは、水質汚濁防止法が指定する有害物質として規制措置が設けられており、公共用水域への排水基準が設けられている。

Ⅲ 洗濯物の処理に関する知識

問1 次の(1)～(5)の各文は、「繊維」に関する記述である。各文にあてはまる最も適切な繊維名を、下の【語群】から1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) ゴムのように6倍以上もよく伸び、大きな伸縮回復力のある弾性繊維である。熱や紫外線に弱く、洗濯には塩素系漂白剤の使用を避ける等、取扱いに注意が必要である。
- (2) 原料の木材パルプから絹の外観に似せて人工的につくった再生繊維で、絹のように連続した長繊維であることから、「人絹(じんけん)」と呼ばれた。
- (3) 南米ペルーの高地に生息するらくだ科の動物で、繊維はやや太く、光沢とぬめり感があり、綿糸との交織は滑りがよく、摩擦にも強い。
- (4) ポリアミド系の世界最初の合成繊維であり、ほとんどが長繊維として使われる。日光やガスによる黄変があり、白や淡色は経時変化で目立ってくる。熱に対して弱い。
- (5) 丈夫で耐薬品性が優れ、難燃性である反面、耐熱性は特に低く、60℃以上の熱で収縮、形くずれを起こす。吸湿性がなく、難染性のため衣料品としては適さない。

【語群】

- | | | | |
|---------|----------|-----------|--------|
| ① アクリル | ② ナイロン | ③ ポリ塩化ビニル | ④ カシミア |
| ⑤ アルパカ | ⑥ ポリウレタン | ⑦ アラミド | ⑧ レーヨン |
| ⑨ アセテート | ⑩ アンゴラ | | |

問2 次の(1)～(5)の各文は、正しい記述であれば○印を、誤っている記述であれば×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 油性のシミは、一般に生地が透けて見え、手ざわりが柔らかく、シミの周囲の輪郭は、はっきりしていないものが多い。
- (2) 水溶性のシミは、霧吹きで霧をかけると、シミよりも生地のほうが水分を早く吸収する。
- (3) アニオン系界面活性剤とカチオン系界面活性剤を併用すると、それぞれの性能や効果の相乗が期待される。
- (4) 毛皮のクリーニングは、パウダークリーニングが適している。
- (5) 洗濯物に残留した石油系溶剤により発生する化学やけど(皮膚障害)は、乾燥を十分に行うことで、防ぐことができる。

問3 次の(1)～(5)の各文は、「ドライクリーニング」に関する記述である。正しい記述であれば○印を、誤っている記述であれば×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) チャージシステムとは、あらかじめドライ溶剤に漂白剤を添加して洗う方法である。
- (2) 洗浄によって汚れた溶剤は、フィルターを通すことで、不溶性汚れも油性汚れも除去することができるため、繰り返し使用できる。
- (3) テトラクロロエチレンは、石油系溶剤より衣類乾燥に高温と時間を要する。
- (4) 溶剤のろ過に用いる、ろ過助剤の1つである活性炭の粒子には、無数の微細孔があり、汚れた溶剤中の色素や発臭物質などを吸着する働きがある。
- (5) 溶剤中に洗い出された汚れが、クリーニング中に洗濯物へ再び付着・吸着することを再汚染という。

問4 次の(1)～(5)の各文は、「アイロンがけ」に関する記載である。

(1)～(2)については、正しい記述となる組合せを①～③から1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。また、(3)～(5)は、正しい記述であれば○印を、誤っている記述であれば×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) ワイシャツにアイロンをかけるときは、アイロンを(ア)、(イ)動かし、同じ部分を何度も(ウ)。

	(ア)	(イ)	(ウ)
①	ゆっくり	— 蛇行させながら	— 往復する
②	ゆっくり	— 一方向に	— 往復させない
③	すばやく	— 両方向に	— 往復させない

- (2) ワイシャツの前身ごろは、アイロンをまず(ア)からかけ、次にポケットにシワが生じないように、(イ)から(ウ)に向けてかけるとよい。

	(ア)	(イ)	(ウ)
①	裏側	— ポケットの両端	— ポケット中央
②	表側	— ポケット中央	— ポケットの両端
③	裏側	— ポケット口	— 下

- (3) 合成皮革は、ポリウレタン系樹脂やアクリル系樹脂をニット等にコーティングしたもので、コーティング面に直接アイロンをかけたり、スチームアイロン及び浮かしアイロンがけをしてはならない。
- (4) ワイシャツの襟は生地が2重になっているので、シワが生じないように、襟の両端から真ん中に向かってアイロンをかける。
- (5) 上ごて蒸気は洗濯物をふくらませる効果があるため、柔らかく仕上がり、下ごて蒸気はプレスしながら蒸気をあてるので、洗濯物が硬く仕上がる。

問5 次の（１）～（５）の左欄は、ＪＩＳ Ｌ ０００１で規定された「表示記号」である。表示記号とその意味の組合せとして、正しいものであれば○印を、誤っているものであれば×印を解答欄に記入しなさい。

（１）		液温は、３０℃を限度とし、洗濯機で非常に強い洗濯処理ができる。
（２）		ドライクリーニング処理ができない。
（３）		ぬれ平干し乾燥がよい。
（４）		洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができる。 低温乾燥：排気温度の上限は最高６０℃
（５）		日陰でのつり干し乾燥がよい。